

12月
8日
(土)

日時

12月8日 (土)

13:15 ~ 13:30 受付

13:30 ~ 15:00 研究発表会 (1)

15:00 ~ 15:10 休憩

15:10 ~ 16:40 研究発表会 (2)

会場

学術総合センター

2階中会議場2, 3

(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

日本教職大学院協会 「実践研究成果 公開フォーラム」

本フォーラムは、教職大学院の「実践研究の成果の公開」、「プロジェクト研究の公表」、「授業における実践的な教育の紹介」を行い、教職大学院の実践的な教育・研究の成果を公表するとともに、今後の教員養成の高度化に向けた教職大学院の教育・研究の充実を促進することを目的に開催するものです。

第1会場

◆帝京大学

帝京大学小学校との連携研究プログラム

—新任教員の学級開きを追って—

清水保徳 (帝京大学教職大学院准教授)

古野美香 (帝京大学小学校1年1組担任・研究主任)

大原明恵 (帝京大学小学校2年2組担任)

◆宮城教育大学

地域とともに学ぶ教職大学院—学校における実習を中心に—

田幡憲一 (宮城教育大学教職大学院教授)

成田智哉 (宮城教育大学教職大学院・利府町立菅谷台小学校)

八戸 淳 (宮城教育大学教職大学院)

第2会場

◆兵庫教育大学

理論と実践の融合を実現する授業システムの開発

—教職員評価のケーススタディと学校経営のケースメソッド—

浅野良一 (兵庫教育大学教職大学院教授)

兵庫教育大学教職大学院学校経営コース 現職学生・修了生(予定)

◆岡山大学

理論と実践の融合を図る「教育実践研究」

—多角的な視点による院生指導を通して—

黒崎東洋郎 (岡山大学教職大学院教授)

渡邊 満 (岡山大学教職大学院教授)

出口貴絵 (岡山大学教職大学院)

三村美紀 (岡山大学教職大学院)

参加申込書



ふりがな
.....

氏名
.....

ご所属・部署名・職名
.....

電話番号
.....

FAX 番号
.....

E-mail
.....

参加申込書に必要事項を記入の上、送信してください。
E-mailの場合は、件名に「公開フォーラム参加申込」と記入し、参加申込書と同じ項目を入力して送信してください。
※申込書・メールに記載の個人情報は、適切に管理するとともに、本フォーラム以外で使用することはいたしません。

◎申込期限 平成 24 年 11 月 30 日 (金)

●●● 実践研究成果公開フォーラム概要

◆帝京大学
帝京大学小学校との連携研究プログラム
—新任教員の学級開きを追って—
帝京大学教職大学院では、大学に隣接する帝京大学小学校（以下帝京小）と年間を通して連携活動を行っている。年度初めに帝京小で授業観察を行い授業記録をとる。その後、授業記録を分析し、教職大学院の合宿で検討を行う。こうした一連の活動を通して、院生の授業を見る目を鍛えるだけでなく、帝京小の教員研修にも役立てるようにしている。今回のフォーラムでは、新任の帝京小教員が行った学級開きの様子をつぶさに観察・分析することで、教師と子どもがどのように「学級」を創り上げていくか、その姿を報告する。

◆兵庫教育大学
理論と実践の融合を実現する授業システムの開発
—教職員評価のケーススタディと学校経営のケースメソッド—
理論と実践の融合を実現するための事例研究を核にした授業システムを発表する。①教職員評価制度における評価能力を習得するためのケーススタディ型授業システム、②総合的な学校経営能力を獲得するためのケースメソッド活用の授業システムである。その開発プロセスと実際の授業システムを解説し、開発教材を紹介・提供する。

◆宮城教育大学
地域とともに学ぶ教職大学院
—学校における実習を中心に—
宮城教育大学教職大学院では、大学が主体的に地域の教育関係者に働きかけ、学生は大学と地域の支援に基づいて、学修と研究の成果を地域に還元し地域とともに学ぶとともに、自ら活動を行う環境を整える活動を行っている。
本発表では、理科や算数・数学などの教科指導に関する学修を行った学生の、地域とともに学ぶ活動について、学校における実習を中心に紹介する。また、ワークショップの中では、参加者とともに教材に触れながら、その作成方法や活用方法等について検討を深める。

◆岡山大学
理論と実践の融合を図る「教育実践研究」
—多角的な視点による院生指導を通して—
岡山大学教職実践専攻では、理論と実践の架橋・往還・融合を通して教育実践力の高度化を図るため、教育実践研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを重視している。教育実践研究では、新卒院生においては自己課題を学校現場の視点に立って「課題発見実習」「課題解決実習」を通してアクションリサーチし、全専任教員の指導の下で省察する。現職院生は現任校の課題を「課題分析実習」「シャドウイング実習」を通してアクションリサーチし、同様に省察する。これらの教育実践研究の成果と今後の課題を報告する。



会場 学術総合センター
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

アクセス 【電 車】
●東京メトロ半蔵門線 } 「神保町」A8 出口
●都営地下鉄三田線・新宿線 } 「竹橋」1b 出口
●東京メトロ東西線 }
徒歩 3～5 分

ご参加の方へお願い
学術総合センター入館時に必要ですので、お手数ですが、本チラシをご持参いただき、会場入り口の係員にご提示ください。チラシはホームページからもダウンロードできます。(URL <http://www.kyoshoku.jp/>)

申込・問合せ先
日本教職大学院協会事務局
(兵庫教育大学総務課秘書室内)
TEL 0795-44-2010
FAX 0795-44-2009
E-mail office-japte@hyogo-u.ac.jp
URL <http://www.kyosyoku.jp/>